

鹿川

発行
鹿川村役場
1959/20
編集
鹿川村教育委員会

定例村議会

十二月の定例村議会を二十五日招集、左記議案を審議原案通り決定した。

- 一、附議事件
鹿川村職員給与に関する条例の一部改正
- 二、昭和三十三年鹿川村歳入歳出追加更正予算

昭和三十三年度一般会計歳入歳出追加更正予算

12月現在

款	前回の予算額	追加更正予算額	予算現額
(歳入)			
6 国庫支出金	1,761,500	370,170	2,131,670
10 寄附金	1,314,150	20,000	1,334,150
歳入合計	32,473,230	390,170	32,863,400
(歳出)			
5 教育費	5,779,405	555,320	6,334,725
14 予備費	616,585	△165,150	451,435
歳出合計	32,473,230	390,170	32,863,400

選挙について

○今回より中居谷地区へ投票所を設けた
○投票時間は午前七時より午後六時まで、但し中津小学校及び中居谷公会堂は午後五時迄
○投票の方法は従来の通り、文字の書けない人は代理記載又は点字投票の方法があるから投票所受付へその旨申出ること、病気で入院中(指定病院)又は投票日に旅行その他で当日投票出来ない方は不在投票の方法がある。早目に連絡のこと
○選挙公報は追って送付する

年頭の辞

鹿川村長 池田萬千雄
輝かしい昭和三十四年の新春を迎え、躍進鹿川村の隆盛を寿ぎ、併せて村員各位の御幸福をお祈り申し上げます。

世界は今や東西両陣営によるミサイル競争により、人工衛星、人工惑星が誕生し、地球の引力圏を離れて月世界の征服さえ可能となりつつある時代の激変に、世界人類が腫目する戦後十三年、日本も新しい文化国家として各国に伍し健全な国際的地位を確立しつつあることは誠に同慶に耐えないところであります。

本村充足以来堅持されてきた健全財政も略々初期の目的を達成し、将来発展への基礎を確立し、爾来主張して来た産業を中心とする道路網並びに通信網は近くその達成を見るべく、道路橋梁については、中居谷地区林道正覚線、小団地農林道名荷谷線、同知者の木線、月野尾線、予子林地区瓜生谷線の五線、延長二・三七一米、工費四八二万円、西地区大地線、延長三・六〇〇米、工費七八一万円、バス運行支障に伴う幅員拡張、カーブ切り取り工事、予子林赤岩間、椽之木瀬鹿野川間、工費約三〇〇万円(四国電力寄附一〇〇万円、県負担金一八〇万円)、その他ダム関係については、大地硯渡船場及び道路四方所、大地三つ石間林道一・四〇〇米、石丸林道同山留め工事、建設省工事、鹿野川鳥首両岸拡張工事九〇〇万円、県公営事業局関係工事(土捨)中野小学校前県道埋立同校庭、郷城、鹿野川裏町道路埋立、同附帯工事、電話ケーブル線埋設式変更工事、電信電話局工費九〇万円等をはじめとし、橋梁、嘉城橋(名荷谷)岩谷橋(山鳥坂地区)何れもコ

ンクリート永久橋、工費三四〇万円、尚岩谷橋関係農道下敷水、下懸橋谷の橋梁、林道の計画等、又村内通信網計画による電話架設については鹿野川周から下敷水、懸谷、中津に至る中津線(工事完了)下敷水から分岐し、中敷水上敷水に至る敷水線(決定線)、萩野尾、道野尾、小畑井線、森線等何れも農村公衆電話により、其の他宇和川地区、嘉城、共栄、大谷白石、月野尾、久下、予子林、郷、以上各広報施設併設何れも村半額補助(工事完了)其の他観光計画、厚生割易水道、塵埃焼却場、町内道路補装等あらゆる分野に於て進められ、遂次その莫大な事業の完成実現をみつつあるわけである、これ一重に議会議員諸氏の深い認識と切実な御協力をはじめ村民各位の絶大な御支援の賜として深甚な感謝の意を表する次第であります。

の他教育産業厚生あらゆる部門に於て、課題が山積されておられ、これら膨大な事業の推進については、幾多の困難の伴わないものがなく、村民各位の一層の御協力をお願いする次第であります。

新春を迎えるに当り更に新しい決意を以つて、富村文化村の建設に邁進したいものと思っております。

殊に世紀の大事業である鹿野川ダムも土木工事のオートメーションにより、最新土木技術を駆使し日夜を分たぬ強行作業により驚くべき工期の短縮をみ、灌水されるに至り、既に新予子林発電所並びに県営鹿川発電所は竣工をみるに至つたのであります、之等はすべて広く地方将来の産業経済文化の開発に大きな基調をなすものであり、一方観光資源としてこれを生かし、差し当りダム周辺の敷地借上げ、買収、遊園道路、公衆便所、桜つじ等の植樹等計画実施中であります、将来広く関係地域と結び、一大観光ルートの設定を必要としております。其

本月の出来ごと

- 十二月
- 一日より三日間 日赤の家庭看護講習会を開く
- 大地地区県道崩潰
- 一五日 蚕業講習会、猟友会総会を開く
- 一六日 八幡浜耕地事務所長大地区道視察の為来村
- 家族計画指導講習、中津
- 一七日 母子福祉協議会役員会
- 新生活学級打合せ開催
- 一八日 中学校統合推進委員会
- 農業委員会を開く
- 二〇日 村常会を開く
- 二二日 観光協会役員会、婦人会役員会を開く
- 二三日より 野犬補獲実施
- 二五日 定例村議会、教育委員会招集
- 二六日 選挙管理委員会を開く
- 二七日 仕事納め
- 一月
- 五日 仕事始め
- 六日 観光協会役員会を開く
- 降雪のため各線バス不

共同募金について

昭和三十三年度共同募金については年末をもって打ち切りました。目標額突破の実績を得ましたことは村内各部落長さんを始めとして、村民各位の共同募金に対する絶大なる御理解と御協力によるものと深謝いたします。左記共同募金総額と内訳を記載いたしました。村民各位の御協力の程を感謝し報告いたします。

- 共同募金総額 九〇、九四七円
- 戸別募金額 五六、八三四円
- 2 パツチ 一七、九〇〇円
- 3 赤い羽根 一六、二一三円

第十一回成人式

無事終了

本村在住の成人該当者一二〇人は、本月十五日成人式に参列、地域有志の祝福をうけて大人の仲間入りをした。

式の後、八幡浜教育事務所長の記念講演を聞き、記念撮影、会食をし、社会人となる抱負を秘めて散会した。



稲の特性表

(村採種分)

早晩の別	稈長	倒伏	脱粒	品質	対病性	反収	概評
農林22号	早	1085	中	難	中の上	強	2840 山間地よし 倒伏はやいし 易い ゴマハガノ発生多し
" 37号	中	989	中	難	中の中	"	3001 山間地静地高す カラハコ弱
ミホニシキ	中脱	914	少	難	中の中	中	3221 愛知地帯に似ているが 対病性は強 い 耐旱性はやいし 劣る
中 亀	"	975	中	"	中の中	強 弱	2980 秋地帯によし 小株密植よし

「種子を更新
しませう。」
村では、三十四年作付用水稲種
子の申込みをうけておるが、そ
の品種とその性質は次の通りで
ある。

三十二年

秋期の果樹

植栽実績

本村の果樹植栽熱は急昇し
三十二年秋期に村でまともな
数量は栗五・三三〇本、柿四
九〇本で栗一七・七ヘクタ
ル、柿一・九ヘクタールの植
栽があつた。
尚植え方は本数を少くしてタコソボを掘り、従来の粗
放栽培から集約的な栽培に改めた農家が多かつた。
三十二年秋期の果樹植栽実績

栗	柿
岸根 二七二五	富有 四六〇
赤中 二二四五	あたご 三〇〇
銀寄 一三七〇	
見積面積 一七・七ヘクタール	一・九ヘクタール

サンパウロ州農拓協扱

雇用移住者の募集が始まる

今までコチヤ産業組合、パウリスタ養蚕協会、県人会
等が雇用移住者の受入あつせんを行つていたが、この度
サンパウロ州農業拓植協同組合中央会が日本側の呼びか
けに応じて、雇用移住者の受入先の拡大を計ると共に、
あつせんに乗出した。このサンパウロ州農拓協扱とは、も
とコチヤ産業組合専務理事であつた故下元健吉氏を中心
となり、ブラジルの法令に従つて共同購買、販売、信用
および拓殖事業を目的として昭和三十三年に設立された
ものである。組合員はサンパウロ、他五州に亘り農業者
や組合をもつて構成している。
この組合は昨年ブラジル産業開発青年隊の受入を
行つてゐるが、今回一般雇用者の受入あつせんにも始
めるのである。今度の計画は、サンパウロ市近郊の組合
員農家を対象に、雑作、養鶏五〇戸、コーヒー作一六戸
を募集することゝなつた。
今回の募集は何れも家族移住で雇用条件等は一般雇用
に準じてゐるが、成績のよい場合は二年目から分益農と
なることもできる。三十四年の契約終了後は分益農とし
て引きつゞき残ることもでき、希望によつては移住振
興会社に入植地に入る便法があり、独立の場合は独立資
金の貸付が受けられることになつてゐる。尚この組合扱
いのもものは今後も引続き募集される見込みですが、詳し

コチヤ産業組合雇用
移住者募集要領

- 一 人員 全国で年間五〇〇名
- 二 時期 毎年数回に分け三年間の予定
- 三 資格 一八―二五才未満の独身男子で現在農業に従事しているもの
- 四 思想 堅実で性質実直なもの
- 五 永住の目的で移住するもの
- 六 義務 移住者はコチヤ産業組合の指示する農場で、最低四年間就労しなければならぬ
- 七 条件 一 給料はその地方の一般的雇用賃金に準じて支払われる
- 二 住居は雇主が無料で与える
- 三 移住者が作業中負傷し又は作業の為健康を害した時は雇主の負担で治療し、休養中の賃金を支払われる
- 四 上陸港より移住地に到る迄の経費はコチヤ産業組合の負担とする
- 五 渡航費 神戸より上陸港迄の船賃は全額政府より貸付られる。
- 六 携行資金 現地への携行資金は不要であるが、移住までの雑費及当座の小遣いとして三―三万円必要
- 七 応募 応募者は前もつて役場へ申出て下さい。尚詳しい事は経済係へ御問合せ下さい。近くコチヤ産業組合呼寄移
- 八 住として若夫婦の呼寄募集がある予定です
- 九 老朽化水田を改良しよう

県森連木材市売場相場

1才当り 脇川村土場価格次の通り (34年1月8日市)

長	サ	末	口	ス	ギ	ヒ	ノ	キ	マ	ツ	備	考
13尺2寸	15下	34	円	80銭	円	銭						
"	25下	33.20			36.06							
"	30上	36.06			37.35							
"	40上	28.54			33.45							
"	60上	30.22			38.64			25.70			マツは14尺	
"	100上	33.40						27.65				
10"	25下	27.65			28.00							
	30上	28.92			32.16							
	40上	29.96			34.11							
	60上							21.50				
6.6尺	25下	12.70			14.60						マツ15下7円50銭	
7尺	30上	14.50			14.67			35下 20上 17.50			パル材	
	60上	20.50			32.16			40上 21.00				
3尺	30上	7.50			8.85							
20尺	50上	35.40			38.64			28.92				

森林組合により 造林用苗木の取扱いについて

植林に最も良い時季となりました。地帯其の他色々準備をされて居られる事と思ひます。付いては森林組合へ苗木を注文されたい方は出来る限り早く苗木入用予定期日と樹種数量を御連絡下さい。二月末日にて苗木取扱を打切りたい予定でありますので必ず連絡をお願いします。



老朽化水田を改良しよう

稲の秋落或は根腐の原因は水田の土の欠陥に原因してゐる。この水田は作土から鉄やマンガ、ケイ酸等の成分や粘土分がぬけ落ちてゐるので、栄養成長が妨げられてゐるので、栄養成長が良好であるのに比べて生殖生長が悪く、言いかえればワラの生産に對して米の収量が少ない現象を起します。原因は一 栄養素の欠乏、二 土壌が砂質の水田、三 耕土が浅い水等があります。対策としては

一 欠乏栄養の補給 イ鉄分(ボーキサイト等)の投入 二 〇キロ(約五〇貫)口苦土石灰の施用(反当一五〇キロ(約四〇貫)ハ赤粘土の客土(反当一〇トン約二七〇貫)等が効果があります。又秋落田については管理の面で次の点に注意が必要です。
一 石灰窒素、尿素、トーマス、塩化加里等の無硫酸肥料を用いること
二 口堆肥を増施する(イモチも少なからず)
三 ハ品種の更新を行うことも効果がある
四 二健苗育成、ホ裁植密度を減らし日光、風通をよくする、へできる
五 処では虫干を行う。